

令和5年度 全国学力・学習状況調査について

(本調査は、全国悉皆調査で第6学年児童を対象に4月に実施されたもの)

1 学力調査に関する結果の概要

【国語】

- 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができる。
- 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができている。
- 図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。

【算数】

- 伴って変わる二つの数量について、表から変化の特徴を読み取ったり、比例の関係にあるかないかを説明したりする力が身に付いている。
- () を用いた式や、加法と乗法の混合した式を場面と関連付けて読み取ることができるなど数と計算領域の理解がよくできている。
- 正三角形の意味や性質についての理解、高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるなどの図形領域問題に課題が見られる

2 児童質問紙に関する結果の概要

- 読書が好きで、積極的に読書に親しむことができている。
- PC・タブレットなどのICT機器を使用する力が身に付いている。
- 自分には、よいところがあるなどの自己肯定感が低く、夢や目標をもって挑む姿に課題がある。

3 取組についての評価

(1) 教科に関する取組

① 効果があった取組

- ・算数科の重点単元等における少人数指導や分割授業の実施
- ・全校での授業改善の推進（基礎基本の徹底・ICT機器を使用した表現・交流活動）
- ・国語、算数の基礎基本（既習の学習）の重点指導（朝タイムの取組）

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・主体的に学び、考えや解決したことを表現し、最後までやり通すことができる授業づくり
- ・自力解決の場の設定を行うなどICTを活用した活動の積極的实施。
- ・個別最適化の学びにつながる指導方法の見直し

(2) 児童質問紙の内容に関する取組

① 効果があった取組

- ・全校での読書タイムや地域ボランティアによる読み聞かせ等の実施
- ・ICTタイムの設定や日常の授業や家庭学習等での活用

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・「やればできる」を合い言葉に志を立てて、達成感や成就感を味わうことができるような取組のフィードバックの充実（あったかはあと・児童会活動・1校1取組など）
- ・特別活動の話し合い活動の実施（月1回以上）